

沖地ネット



“沖地に想う”

沖縄県地域づくりネットワーク
副会長&運営委員長 山城 定雄

情報誌「沖地ネット」の発行を心よりお喜び申し上げます。

沖地のこれまでの歩みを振り返りますと、昭和 63 年からスタートしたふるさと創生 1 億円事業を起爆剤として、全国的に地域づくりの気運が盛り上がり、本県においても個性的で魅力ある地域づくりが展開されるなか、自主的・主体的な地域づくりの取り組みを更に積極的に促進するため、地域づくり団体、市町村、広域市町村圏事務組合及び県で構成し、平成 6 年に県庁内に任意団体として「沖縄県地域づくり団体沖縄県協議会」が設置されました。平成 14 年には事務局を「NPO 法人コミュニティおきなわ」に移管し、名称も「沖縄県地域づくりネットワーク」に変更し、情報誌「わんからやー」を発行する等の活動を展開してまいりました。その後、事務局は平成 18 年度からは「NPO 法人調査隊おきなわ」に、さらには平成 25 年度からは「一般財団法人沖縄県公衆衛生協会」に移管され現在に至っております。

この間、平成 18 年には「いちやりばちョーでー 仲間づくり」をテーマに、第 23 回地域づくり団体全国研修交流会沖縄大会「美ら島・シマおこし大会」が本県で開催され、全国の仲間と県内各地の地域づくり団体&関係者が強い絆で結ばれ実り多い大会となりました。

縁あって、私は設立から今日まで様々な形で会の運営に携わることができました。近年は、地域づくりに対する会員のニーズも多様化し、会のあり方についても様々な議論が行われています。しかし、本県においては、平成 24 年度から「沖縄振興特別推進交付金」（一括交付金）が創設され、行政・民間それぞれの強みを生かした地域づくりのニーズは高まっており、‘地域の思いをカタチにする’‘地域を元気にする’地域づくり活動が活発になってきています。このためには、交流や情報発信は必要不可欠であると思っています。

情報誌「沖地ネット」が会員相互の交流や地域づくりの情報提供などの会員のニーズに応え、沖地の存在価値を高めるとともに、自主的・主体的な地域づくりの活性化の一翼を担うよう期待して発行に寄せるメッセージとします。

活動・事業案内

5 月 30 日の総会で今年度事業として 9 月に本部町備瀬地区でのシマおこし研修交流会の開催が承認されました。

備瀬地区のフクギ並木は有名ですが、人口流出で、空家が多くなっていた問題がありました。そこで、この空家(古民家)を宿泊施設に改築することで、観光客誘致と人口流出の歯止めに成功している数少ない地区ではないでしょうか。つきましては、この古民家に宿泊しての研修交流会に是非、参加していただきたいと思います。限定 40 名ですのでお急ぎください。詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

facebook 始めました。『沖地ネット』で検索！！



民間活動紹介 調査隊おきなわ

以前、沖地ネット事務局を担当していた調査隊おきなわの親川です。最近、ハルサーを営みながら、細々と活動を続けていますが、昨年度に引き続き、セーブジャパンプロジェクトの沖縄県での活動を支援しています。

この事業は、生物多様性の維持を目的に、原資は日本興亜損保で、全国展開には日本NPOセンターが調整を行い、各県の間支援組織として調査隊おきなわが携わっています。実施するのは、県内の環境団体であり、本年度は「うるま市水と緑を考える会」による蝶の観察会と「恩納村エコツーリズム研究会」による干潟観察会を下記のように実施します。

◆8月17日(日) 9:00 うるま市本庁舎集合 バスにて勝山地区、八重岳に移動、コノハチョウ等を観察、羽地川に移動し水生生物観察、17:00 解散

◆8月24日(日) 10:00 恩納村ふれあい体験学習センター集合、安全確認後、屋嘉田カタバルにて、歩きながらサンゴを観察、13:00 解散

◆申し込み 調査隊おきなわ 南城市大里字大里

2013 沖縄県公衆衛生センター2F

親川善一 (090-6420-3396)

メール: oyatyan@gmial.com

高平兼司 (090-2794-3925)

メール: takahira@koeikyo.com

FAX:098-945-3973

◆参加費 いずれも無料



行政活動紹介 沖縄県企画部地域・離島課

◇沖縄県地域・離島課では、地域づくり活動を応援するため諸施策を実施しています。沖縄県地域づくりネットワーク（以下、「本ネットワーク」とよびます）については、主に情報発信や交流促進を活用し、地域づくりに関連したヒントを得、各事業に活用してきました。

イチ押し情報！

☆本課では「ゆいゆい SNS」という、地域づくり人材がつながり、共感し、助け合い、信頼関係づくりができる場をインターネットに設けました！本取組の趣旨は情報発信・交流の場の提供という点で本ネットワークの趣旨と共通しており、関係者が相互にメリットとなる連携を促進していきたいと思えます。



◇本ネットワークも会員の皆様のメリットのため、一層取組みを行なうとしています。会員の皆様も様々な機会を捉え、交流への参加や事務局への情報提供を行なって頂き、より活発な活動や地域を盛り上げる喜びの再確認、更に新たな活動のきっかけづくり等のご活用されてください。

※本課の詳しい業務内容については課ホームページ（『地域・離島課HP』で検索）をご参照ください。

沖縄県 企画部 地域・離島課
沖地ネット担当：宮里政史

平成26年度 沖地ネット総会 盛会裏に終わる！

去る5月30日(金) 沖縄船員会館(那覇市前島)にて本年度の総会(議長:上原文一氏カタンニュークラブ代表)を開催(参加団体18、参加者31名、委任26団体)致しました。遠くは竹富町や宮古島市からの参加もありました。議題は、平成25年度事業報告、決算報告、平成26年度事業計画・予算案(修正案道議)、運営委員の変更等であり、すべて承認をいただきました。内容はHPでもご覧いただけます。



総会後の研修会では「市民団体と地域自治会の連携によるまちづくり 本部町備瀬から」と題して、9月6-7日開催のシマおこし研修交流会のPRを兼ねて、喜屋武信氏(NPO法人備瀬・島づくりの会理事長)と宮里大八氏(琉大特命准教授、沖地ネット運営委員)による掛け合いで、本部町備瀬での活動が紹介されました。参加した会員は、地域と連携したまちづくりの在り方に大いに参考になったようです。研修会終了後は、懇親会を兼ねた交流会を催しました。